

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和5年12月19日（火）午後2時05分～2時35分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース（R5年5月16日検討した事例の振り返り）

参加者数： 14名

〔事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者4名〕

パーキンソン病があるが、仕事をしたい77歳男性

〈目標〉1日:毎日、歩行運動を続ける。

1年:下肢筋力が維持できる。

利用サービス:通所リハビリテーション

《前回会議での支援策》

支援方針:身体・口腔リハビリを継続し、疾患の進行予防を図る。生きがいを考慮した活動の提案。

助言内容

- ① パーキンソン病は進行性疾患であるため、進行を遅らせる、悪化させない。筋力低下を防ぐ。
- ② 咽込み^{むせこ}は嚥下機能低下が考えられるため、顎下・舌の筋力強化を図る。
- ③ 発声・滑舌が悪いのは口腔周囲・舌の筋力低下が考えられる。口腔運動を継続的に取り入れる。
- ④ 薬剤副作用でふらつきが生じるため転倒に注意する。
- ⑤ リハビリとして片足立ちの練習・持続時間を確認する。
- ⑥ 咽込み^{むせこ}ある方の食事摂取はスプーンで1口ずつ。食前に嗽^{うがい}をして唾液の粘性を少なくする。

《支援結果・状況》

- ① 達成:病状に大きな変化なく経過。下肢筋力維持されている。リハビリ継続中。
- ② 達成:舌の運動を時々行うようになった。咽込み^{むせこ}なく経過。
- ③ 達成:パタカラ運動を時々行うようになった。
- ④ 達成:副作用・転倒なく経過中。
- ⑤ 達成:リハビリ継続中。下肢筋力維持されている。バランス能力に若干の低下がある。
- ⑥ 達成:食前の嗽^{うがい}をするようになった。
- ⑦ 未達成:立ち上がり・歩行時にふらつきがあるため、サロン参加できていない。